

平成18年度調査埋蔵文化財展

財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀県教育委員会



レトロ口 の展覧会 2007



ごあいさつ

琵琶湖と周辺の間々や大小の河川と平野などによって形成された美しく豊かな自然環境を持つ滋賀県は、日本のまんなかともいうべき地理的環境によって、独特の歴史・文化を育んできました。

私たちは、埋蔵文化財の調査・研究・普及啓発・滋賀県立安土城考古博物館・滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県埋蔵文化財センターの管理・運営などを通じて、滋賀県が持つ豊かな文化財の保護と活用に日々努めています。

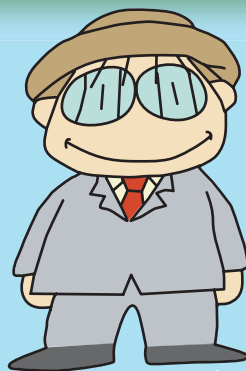
毎年、夏に行っている「レトロ・レトロの展覧会」は、皆さんに埋蔵文化財を広く知っていただくための取り組みのひとつで、今年で21回目になります。

この展覧会では、前年度に発掘調査で得られた成果を少しでも早く知っていただき、そして、出土した遺物にふれてもらうことや火おこしを体験してもらうことで昔の人たちの生活に関心を持っていただければと思っております。

この展示が、文化財への理解を深めていただき、また、歴史への興味を持っていただくきっかけとなって、地域や滋賀県の未来を豊かにする一助になることを願っています。

平成19年7月

財団法人滋賀県文化財保護協会



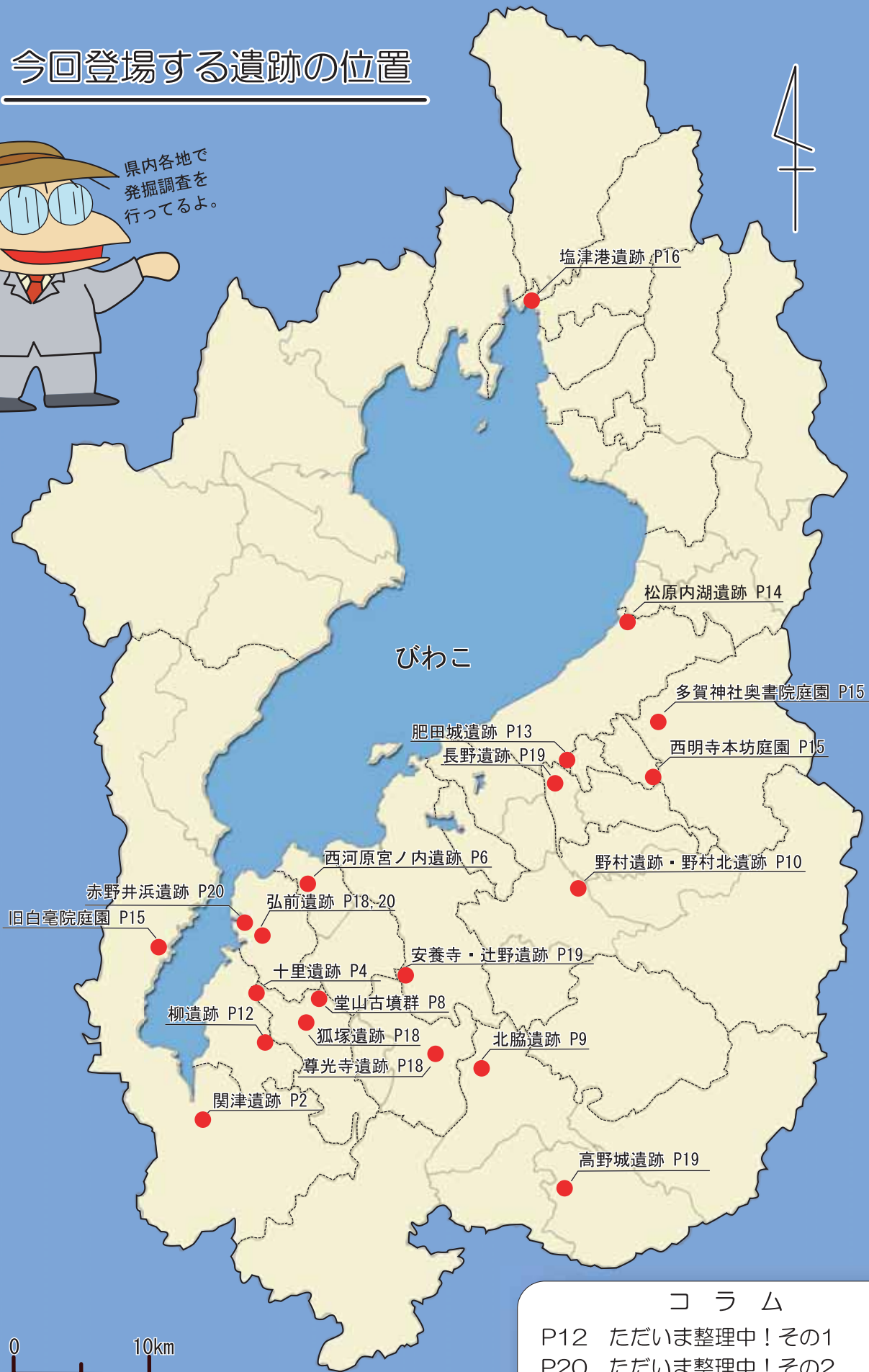
こんにちは！
滋賀県の歴史を
ご覧ください。

シガタロウ君デース!!

今回登場する遺跡の位置



県内各地で
発掘調査を
行ってるよ。



0 10km

コラム

- P12 ただいま整理中！その1
- P20 ただいま整理中！その2
- P21 平成18年度財団法人滋賀県文化財保護協会 事業概要報告



せきのつ 関津遺跡

大津市関津一丁目・五丁目

奈良・平安時代の「田原道」を発見！



田上山麓の瀬田川を望む扇状地に位置する関津遺跡は縄文時代～江戸時代の集落跡です。今回の調査では縄文時代後期の落とし穴や弥生時代後期と飛鳥時代の堅穴住居や溝、奈良時代中期～平安時代前期の道路や掘立柱建物群、平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物や井戸・土坑墓、室町時代～江戸時代の溝や土坑などがみつかりました。

奈良時代中期～平安時代前期の建物群は道路に沿って70棟以上あります。道路は奈良時代の『続日本紀』に記された「田原道」と推定されます。また、周辺の建物群には平城京や石山寺の整備のために造られた「田上山作所」や「近江国庁」・「保良宮」などの公的施設に関わるものも存在する可能性があります。



奈良時代～平安時代前期の土器（須恵器・土師器）

直線的に伸びる道路跡が長さ250mにわたってみつかりました。この道の幅は、当時の主要官道（山陽道や東海道などは幅9～15m）よりも広く18mもあります。

また、奈良時代には東山道として機能していたとする説もあります。



田原道と推定される道路

両側に側溝をもちます。前方は石山・瀬田方面です。

関津遺跡は田原道が瀬田川に並行し、中世・近世には港も存在していることから、水陸交通の結節点に営まれた古代の物流ターミナルの役割を兼ねそなえていたことも考えられます。



奈良時代の建物

倉庫とみられる奈良時代の建物（写真中央 黄色で表示）です。建物と重複して飛鳥時代の溝がみつかりました。



出土した硯

平安時代前期の風字硯（写真前）と奈良時代の形象硯（写真奥 竜か羊をかたどったものです。）



平安時代後期の建物

建物の周りに雨落ち溝とみられる浅い溝がめぐっています。



田原道のイメージ図

田原道とは

京都府宇治田原町を経由して近江と平城京を結ぶ最短ルートが『続日本紀』に田原道として記されています。ふじわらのなかまる藤原仲麻呂の乱では奈良からの追討軍がこの道をいち早く進軍し、乱を鎮圧しました。

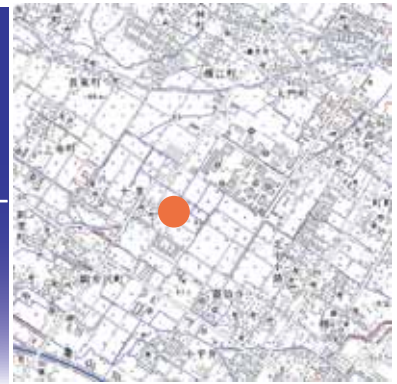


ホームページに現地説明会資料あります。
<http://www.shiga-bunkazai.jp/>

じゅうり 十里遺跡

栗東市十里

ペンダントにされた鏡



十里遺跡は弥生時代中期～古墳時代前期と飛鳥時代の集落跡です。今回の調査では弥生時代後期～古墳時代前期の溝をめぐらせた建物3棟や掘立柱建物11棟、井戸1基、大溝、弥生時代中期の方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}5基や後期の木棺墓2基などがみつかりました。

このうち最も大きい方形周溝墓は墳丘規模が約20mもあります。これは弥生時代の墓の大きさとして、全国的にみても最大級のもので、この周溝からは管玉^{くだたま}が出土しました。また大溝から、中国（後漢時代）より伝来した銅鏡をペンダント状に再加工したもの（破鏡）^{はきょう}やガラス小玉、銅鏃（銅製の矢じり）、黒漆塗りの盾などの珍しい遺物が大量の土器といっしょにみつかりました。



今回の調査によって、十里遺跡の当時 周囲に溝をめぐらせた建物



調査地全景 大溝（写真中央）を挟んで手前に弥生時代後期～古墳時代前期のムラ、対岸（写真奥）に弥生時代中期の方形周溝墓がみつかりました。

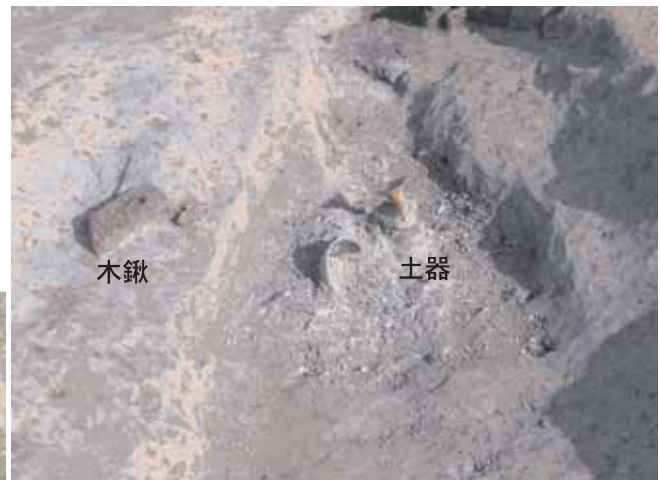
のムラは南北200mほどの規模をもち、その外側に墓域があったことや、そこに住む人々が遠く中国大陸からもたらされた宝物を手に入れることができたことがわかりました。



弥生時代後期の井戸 深さ1mの素掘りの井戸です。



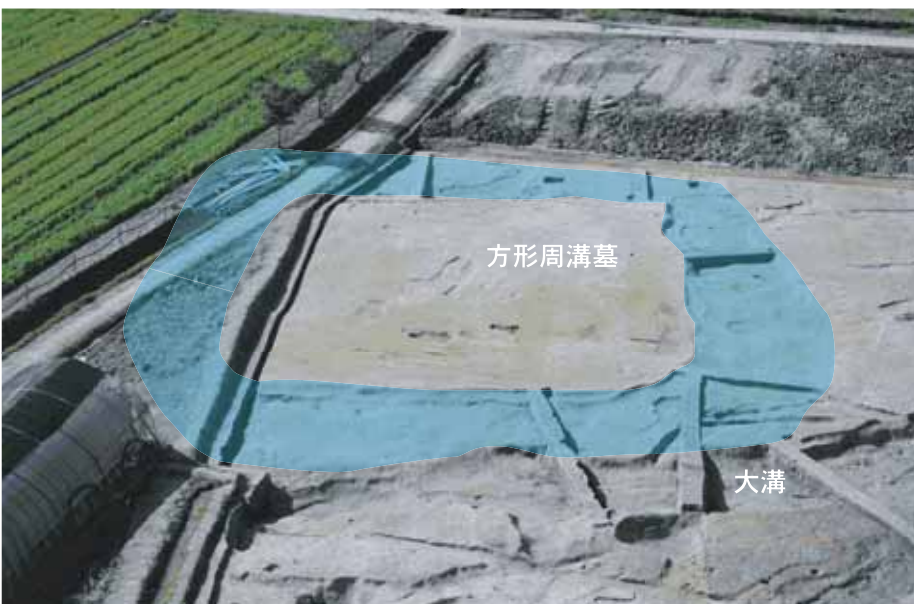
銅鏃とペンダント状に再加工された鏡



大溝から出土した弥生時代後期の壺や木罫（上）

木棺墓（左）

穴の大きさは長さ約2m、幅約1mです。棺本体はすでになくなっていましたが、棺を埋めた土にその痕跡（オレンジ色で表示したところ）が残っていました。



方形周溝墓

四角い墳丘の周りに溝をめぐらせた墓です。墳丘が後世の開墾などにより削られていたため、棺や遺体を埋めた穴はみつかりませんでした。また、溝の一部は大溝によって壊されていました。



にしがわらみやうち 西河原宮ノ内遺跡

野洲市西河原



米の貸付を示す最古の木簡出土

今回の調査では7世紀後半から8世紀前半にかけての建物2棟や柵などが見つかりました。建物の1棟は床面積が約45㎡と大きいことから、公的施設の倉庫であったようです。この建物の柱抜き取り穴や周辺からは、木簡が7点出土しました。木簡には、干支で示された年（「辛卯年」691年・「壬寅年」702年）と、「稻千三百五十五半把」や「貸稻」などと記されています。米の貸し借りに関わる木



調査地全景



倉庫とみられる建物

建物の内側に床を支える太い柱穴があることから、倉庫のように重いものを入れる建物であったことが判ります。

簡としては最も古いです。

西河原宮ノ内遺跡の周辺ではこれまでの調査でも、7世紀後半から8世紀にかけての木簡が約100点出土しており、当時の都であった藤原京や平城京に次ぐ出土量であり、古代の野洲郡に關係する公的な施設があったと推定されています。今回の調査はそれを裏付けるものといえます。



木簡出土状況

出土した木簡

木簡とは墨で文字が書かれた木札のことです。今回出土した木簡には端に穴が開けられており、ひもで束ねて保管されていたことが判ります。

右の6号木簡には貸し出した種もみの量「稻二百」、借りた人「刀自^{とじ}みぎににん^{さた}右二人」やその保証人の名前「佐太^{さいたいれん}大連」などが記されていました。この木簡の大きさは長さ28.9cm以上、幅4.5cm、厚み0.5cmです。

木簡は長い間、土の中に埋もれていたために、墨がかすれて読めない文字もあります。（活字の中にある□の部分です。）残っている部分をヒントに皆さんも解読にチャレンジしてください。

人佐太大連 二人知 文作人石木主寸文通
首弥皮加之

(289)×45×5 019



(裏)

刀自右二人貸稻□□稻二百 又□□稻卅□貸



(表)

どうやま こ ふん ぐん 堂山古墳群

栗東市六地藏

新たな円墳を発見！



堂山古墳群は、名神高速道路に隣接する丘の上にある古墳時代中期～後期の古墳群です。今回の調査では、山頂で新たな古墳とこれに隣接する溝などを発見しました。

古墳は直径10m、高さ2.4mを測る円墳です。棺などは残っていませんでしたが、埋葬施設は墳丘に穴を掘って木棺を埋める木棺直葬^{もつかんじきそう}であることがわかりました。そこからは石製の管玉がみつかりました。古墳時代中期ころに造られた古墳と考えられます。

古墳の北側に設けられた溝からは、古墳時代後期～奈良時代の須恵器が出土しました。



堂山古墳群遠景

調査地の南側（写真右端）に名神高速道路が通っています。



古墳の北側でみつかった溝



円墳全景

古墳中央の穴が埋葬施設です。そこから十字に伸びるまっすぐな溝は、墳丘の盛り土を調べるために設定したトレンチです。

きたわき 北脇遺跡

甲賀市水口町北脇

平安時代の鍛冶工房を発見



北脇遺跡は現在の東海道（江戸初期に整備された道）の近くで新たに発見された遺跡です。今回の調査では、9世紀後半から10世紀の掘立柱建物12棟や柵5条、溝などと、須恵器や土師器、緑釉陶器などがみつかりました。

この遺跡は細長い掘立柱建物が数棟並んでいるのと、周囲からフイゴの羽口や炉壁・砥石・鉄滓など鉄の道具を作っていたことを示す鍛冶関係の遺物が多いのが特徴です。建物は鍛冶工房と考えられます。また、近くで大規模な施設を囲っていたとみられる柵も確認しました。



鍛冶関係の遺物

左上：フイゴの羽口（鉄を溶かすために炉に風を送り込む管）

中央：鉄滓（鉄を溶かした時に出る不純物のかたまり）

右端：作った道具を研ぐための砥石

甲賀郡域を通る東海道は、仁和2年（886年）に、迎川沿いの道から野洲川沿いの阿須波道に振り替えられています。今回みつかったこの施設は阿須波道の整備に連動した地域の動きの中で造られたのかもしれない。



調査地の全景 赤く示した部分が鍛冶工房です。現在の東海道は国道1号線（写真奥の道路）から500mほど離れたところを並行して通っています。



のむら のむらきた 野村遺跡・野村北遺跡

東近江市野村町

奈良時代～室町時代のムラを発見



野村遺跡・野村北遺跡は、今回の調査で初めて奈良時代～室町時代の集落跡であることが明らかになりました。

野村遺跡では奈良時代～平安時代後期の竪穴住居2棟と掘立柱建物2棟、溝などがみつき、須恵器や土師器などが出土しました。また、掘立柱建物の柱穴から、帯に付ける金具がみつかりました。



奈良時代の柱穴

柱穴の中から当時使っていた土器が出土しました。



発掘調査作業

下の写真の竪穴住居を掘り進めている状況です。



掘立柱建物（上）

白線で印を付けた四角い穴が建物の柱を立てた穴です。穴の深さは50cmほどです。

奈良時代の竪穴住居（左）

一辺4mほどの竪穴住居（写真中央の四角い穴）です。住居の東隅にカマド（住居内の右上付近）がみつかりました。



野村北遺跡では奈良時代の竪穴住居 8 棟や平安時代中期頃の掘立柱建物 2 棟や鎌倉時代の鍛冶炉状遺構・道路、室町時代の井戸や石組みをもつ溝・方形の土坑などが発見されました。



石組み井戸（室町時代）



石組み溝（室町時代）



竪穴住居の掘削作業

竪穴住居のカマドの造り方を調査するために慎重に掘り進めています。



遺構実測作業

遺構を方眼紙に書き写していく作業です。たとえどんなに石が多くても、発掘された遺構は残さず図にしていきます。



奈良時代～平安時代頃のムラの様子

ただいま整理中！ その1

発掘調査で出てきた土器や石器はこの後どうなるの？

発掘調査により持ち込まれる土器や石器は、バラバラに割れていたり、泥が付いています。そこできれいに洗いもとの形に戻し、詳細な図面を作り、写真を撮ります。そして、それらを観察して詳細な記録である『発掘調査報告書』を作ります。こうした一連の作業を「整理調査」と呼んでいます。ここでは現在整理調査を実施している遺跡の中で、新たにわかったことについてみていきます。

柳遺跡の整理調査

草津市青地町にある柳遺跡は、平成12・13年度に発掘調査を行いました。現在、大量に出土した土器や木器の整理調査を行っています。

土器は粉々に砕けて出土したものを、できるだけ使われていた当時の姿に復元して、時代や土器の形ごとに分類を行いました。その結果、ほとんどの土器が弥生時代後期～古墳時代初頭（1世紀～3世紀中頃）のもので、この頃に大きな集落が存在したことがわかりました。また、煮炊き用に使われた甕は、8割以上が近江産の特徴を示す受口状口縁甕と呼ばれるタイプで、土器の多くを地元で作っていたことがわかりました。



地元で作られた土器
(復元された弥生土器)

木器にはさまざまな種類のものがあります。約半数は鋤や鋤などの農具です。木器に使われた木の種類は、鋤や鋤には堅いカシ、ムシロ編みのオモリには重い広葉樹、容器や建築材には軽くて加工しやすく、まっすぐな材が得やすいスギなどの針葉樹というように、木の特徴を活かした木器製作がなされています。なお、2,000年も前の木器は水を含んで非常に柔らかく、弱くなった状態で出土しましたが、ポリエチレングリコールという樹脂を染み込ませて強化する保存処理を施しています。



さまざまな種類の木器

ひだじょう 肥田城遺跡

彦根市肥田町



肥田城水攻めの堤を発見

肥田城は、六角^{ろっかく}氏の家臣であった高野瀬^{たかのせたかしげ}隆重^{だい}が大永^{えい}年間（1521～1528）に築いたと伝えられています。今回の調査は、城跡の周辺で行いました。そこでは永禄^{えいろく}二年（1559年）に肥田城を水攻めにする時に築かれた堤跡や堤を造る土取り痕がみつかりました。また、掘立柱建物や道路、溝、水田などの奈良時代～鎌倉時代前期頃の遺構がたくさん発見されました。特に、平安時代前期には南北方向に建物方位を合わせた「コの字形」に配置された大型建物や道路がみられます。地域の有力者が居を構えていたと考えられます。



城跡周辺に残る水攻め堤の痕跡

堤の痕跡は長い水田となっています。
(シガタロウ君達がいますところ。)



奈良時代～鎌倉時代のムラ
上方は肥田町の町並みと荒神山



平安時代前期の建物の柱

女性の右側にある茶色い木片が残っていた柱の根本部分です。



まつばら ない こ 松原内湖遺跡 彦根市松原町

奈良・平安時代の谷間のムラを発見



松原内湖はかつて彦根市街地の北側にあった内湖です。この湖に接する丘陵の谷間から奈良時代～平安時代前期の竪穴住居10棟や井戸1基、縄文時代早期後葉のものと思われる集石土坑しゅうせきどこうなどがみつけられました。

集落は三方を丘陵に囲まれた南向きの谷にあり、この場所は日当たりがよく、冬場の北風が直接吹き込まない地形となっています。この周囲には稲作に適した平地がほとんど見あたらないことから、このムラの人々は内湖での漁労や琵琶湖の水運に従事していたのかも知れません。



縄文時代の集石土坑（直径約1mの穴に多くの石を入れています。なかには焼けた石もあります。）



谷間に営まれた奈良時代～平安時代のムラ

写真中央にある四角い穴が竪穴住居です。住居は一辺3～4mの大きさでした。



ぼくしよ
 墨書土器

平安時代前期の須恵器の底に墨で「山家」と書かれています。

庭園整備調査 名園を後世に伝えていく

さいみょうじほんぼう
西明寺本坊庭園 甲良町池寺

た が じんじゃおくしょいん
多賀神社奥書院庭園 多賀町多賀

えんりやくじさとぼう きゅうびやくごういん
延暦寺里坊庭園 旧白毫院庭園 大津市坂本四丁目

滋賀県には、造形的・歴史的に優れた庭園が数多くあります。これらの多くは数百年の間に様々な改修がなされたり、石組などが傷んでしまい、当初の姿を変えているところもあります。そこで、他の文化財と同様に修理を行う必要があります。庭園を修理する場合は、現在の状況を正確に記録し、次に行う調査・整備の基本資料を作る必要があります。

協会では、こうした庭園整備を行うための測量調査や遺構確認調査・修理工事時の立会調査を行い、近江の名園を後世に守り伝えていく仕事もしています。

平成18年度は国指定名勝の西明寺本坊庭園と多賀神社奥書院庭園、延暦寺里坊庭園のうち旧白毫院庭園の発掘調査や測量調査を行いました。



発掘調査風景（西明寺本坊庭園）



庭園測量調査（多賀神社奥書院庭園）



庭園修理工事時の立会調査（旧白毫院庭園）



ホームページに現地説明会資料あります。
<http://www.shiga-bunkazai.jp/>

しおづこう 塩津港遺跡

西浅井町塩津浜

塩津港の守り神の社か！



塩津港遺跡は、琵琶湖に流れ込む大川（塩津川）の河口付近に位置します。今回、現在の琵琶湖の水面よりも低いところで、奈良時代～鎌倉時代前期にかけての建物跡が発見されました。建物はほぼ同じ位置で掘立柱建物から礎石建物、基壇をもつ建物へと何度も建て替えられています。建物の周辺からは、灯明皿を含む大量の土師器皿片とともに鍍金された金銅製鳥脚、古銭（隆平永寶）、二彩陶器、中国製の陶磁器などが出土しました。



調査地

塩津港遺跡の位置

塩津港は琵琶湖の北端部に位置しており、北陸地方への物流の拠点として重要な港でした。



（上）平安時代後期～鎌倉時代前期の礎石建物

柱を礎石の上に据えて建てる構造の建物です。写真中央に並んでいる平らな石が礎石です。

（左）宗教施設と考えられる基壇をもつ建物

一辺7mの方形の基壇（手前の石組み）が確認されました。建物の前面（南側）には琵琶湖が広がっています。

今回発見した建物は、航行の安全を祈願する港に関係した宗教施設であったとも考えられます。

塩津港は古代より都と北陸を結ぶ物流拠点として、大津と並ぶ琵琶湖の重要な港であり、平安時代の『延喜式』にその名をみる事ができます。また、紫式部も寄港して和歌を詠んでいます。しかし、実態はまったく知られていませんでしたが、今回の調査で初めてその一端が明らかになりました。

なお、琵琶湖周辺には古代から多くの港が存在しますが、その様子は明らかになっていません。



調査風景

遺跡は川が運んできた厚い砂の層に埋まっていた。この砂の中からも多数の土器が出土しました。



掘立柱建物

掘立柱建物は、柱の根本の部分を土の中に埋めて柱が倒れないようにする構造の建物です。今回の調査では、柱の一部が立ったままの状態で見つかりました。



出土遺物

(左) 金銅製鳥脚 (大きさは長さ5cm、幅2.5cmです。)

(右) まじないの文字が書かれた土師器皿 (鎌倉時代)



塩津港遺跡のイメージ図

きつねづか
狐塚遺跡

栗東市川辺

狐塚遺跡は縄文時代中期～鎌倉時代の集落跡です。今回の調査では、鎌倉時代の柱穴や平安時代～鎌倉時代頃の土器がみつかりました。



発掘調査作業

こうまえ
弘前遺跡

守山市矢島町・赤野井町

弘前遺跡は、弥生時代から中世におよぶ複合遺跡です。今回の調査では、弥生時代後期の方形周溝墓1基や奈良時代～平安時代頃の掘立柱建物6棟や溝などがみつかり、弥生土器や土師器、須恵器などが出土しました。



奈良時代～平安時代頃の掘立柱建物

そんこうじ
尊光寺遺跡

湖南市平松

尊光寺遺跡は中世の寺院跡であり、事前試掘調査では弥生時代～中世の土器がみつかり、今回の調査では溝2本（時期不明）がみつかり、弥生土器や須恵器が出土しました。



2本並んでみつけた溝

たかのじょう 高野城遺跡

甲賀市甲賀町高野

高野城は戦国時代の城跡です。今回の調査では、城跡の付近において江戸時代以前に造られた平坦面や道、江戸時代～近代の池などを確認しました。



江戸時代～近代の池堤防

あんようじ つじの 安養寺・辻野遺跡

近江八幡市安養寺町

安養寺・辻野遺跡では、奈良時代～平安時代前期の溝や江戸時代のものと思われる古式水道遺構などがみつかりました。奈良時代～平安時代前期の溝からは、墨書土器のきまるかわらや軒丸瓦が出土しており、この付近にあった古代寺院の安養寺廃寺に関する遺構とも考えられます。



奈良時代～平安時代前期の溝

ながの 長野遺跡

愛荘町長野

長野遺跡では、古墳時代中期の埋没古墳の周溝・弥生時代～平安時代の溝・流路などの遺構や、円筒埴輪えんとうはにわや弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器などの遺物がみつかりました。

この古墳は、宇曾川流域うその平野で古墳が造られ始める時期を探る手がかりといえます。



埋没古墳の周溝（青色の部分・破線は想定線）

《コラム》

ただいま整理中！ その2

表情豊かな縄文・弥生人～^{あかのいはま}赤野井浜遺跡～

平成14～16年度に発掘調査を行った赤野井浜遺跡（守山市杉江町・赤野井町）から、縄文・弥生時代の人体を表現した遺物が見つっています。縄文時代の土偶には、屈折像土偶と黥面土偶があります。屈折像土偶は、膝を曲げて座っている格好で、座産をざさん表していると考えられます。もう一つは、目や眉、額にかけて平行する細線でいれずみを表現しています。弥生時代のもので土偶形容器どぐうがたようきと呼ばれる土偶の形をした容器が見つっています。この土偶形容器も目と口の周りには細い線で、いれずみを表現しており、黥面土偶に似ています。これらは東日本に分布の中心をもつもので、西日本地域と縄文時代から弥生時代にかけても継続的に交流があったことを示しています。特に土偶形容器は、日本列島の分布の西端の例となりました。



赤野井浜遺跡の土偶（左上、右）・土偶形容器（左下）

古墳時代のリサイクル！ ～^{こうまえ}弘前遺跡～

平成17年度に発掘調査を行った弘前遺跡（守山市赤野井町・矢島町）では、井戸枠をもつ古墳時代後期の井戸が出土しました。整理調査の結果、この井戸枠は丸木舟の一部を再利用したものであることが明らかになりました。丸木舟には、一木をぬ削り貫いて作った舟体に他の部材をつけ加えたあとが残り、特殊な構造の舟であったと推測されます。



弘前遺跡の井戸枠に使われた丸木舟
(直径1m以上の丸太を削り貫いて作っています。)

舟が使われた井戸は、方形に巡る溝に囲まれた大型掘立柱建物に近接しており、ムラの中で特別な場所にあったと思われます。こうしたことから、単に舟をリサイクルしたのではなく、何らかの特別な意図をもって井戸枠に舟を使ったのかもしれない。

平成18年度 財団法人滋賀県文化財保護協会 事業概要報告

1 協会運営

- ◎役員会議等の開催
 - 決算監査 18年5月19日(金)
 - 第1回理事会および評議委員会 18年5月26日(金)
 - 第2回理事会および評議委員会 19年3月27日(火)
- ◎管理事務
協会事務局および滋賀県埋蔵文化財センターの運営と維持管理。
- ◎指定管理
 - 滋賀県立安土城考古博物館 (指定管理期間18年～22年、5年間)
 - 滋賀県立琵琶湖文化館 (指定管理期間18年～19年、2年間)



成果展関連イベント(8月10日丸木舟試乗会 近江八幡市沖島町)

2 埋蔵文化財の調査・研究・保護に関する事業

- ◎埋蔵文化財調査などの受託(明細別表)
 - 63件
 - 発掘・試掘調査 39件
調査面積 65,258㎡
 - 整理調査 24件



整理作業(遺物実測)



堂山古墳群発掘調査作業

3 文化財保護のための普及啓発事業

1 文化財展の開催

- ◎平成17年度調査埋蔵文化財展「第20回レトロ・レトロの展覧会」
 - 期 間 18年7月22日(土)～8月31日(水)
 - 場 所 滋賀県埋蔵文化財センター
 - 入館者数 3,423人
- ◎成果展(安土城考古博物館第32回企画展と共同開催)
 - (入館者数11,643人)
 - 「丸木舟の時代ーびわ湖と古代人ー」
 - 期 間 18年7月15日(土)～9月10日(日)
 - シンポジウム 8月13日(日) 参加者105人
 - 基調講演「縄文時代の丸木舟研究のために」
敦賀短期大学教授 網谷 克彦 氏
 - 事例報告「琵琶湖周辺の縄文社会」
滋賀県文化財保護協会 瀬口 眞司
 - 「湖辺の縄文時代遺跡」
滋賀県文化財保護協会 中村 健二



レトロ展(火おこし体験)

◎JR西大津駅構内文化財展示

- 第1回「歴史を掘り出すー発掘の道具と方法ー」
- 第2回「発掘調査速報展ー平成17年度に調査した遺跡ー」
- 第3回「鉄(かね)沸かず比叡・比良ー製鉄遺跡調査成果展」

18年5月25日～ 9月15日
18年9月15日～19年1月15日
19年1月15日～ 5月18日

◎調査成果報告関連遺跡展（地元教育委員会等と共催）
見学者 約2,000人

- 「発掘 植遺跡」甲賀市水口歴史民俗資料館
18年 4月29日～ 5月18日
- 「甲賀の城発掘調査報告展」甲賀市甲南情報交流センター
18年 8月22日～ 8月26日
- 「穴太銅込古墳群発掘調査展」大津市埋蔵文化財センター
18年 9月12日～ 12月22日
- 特別展「紫香楽宮－天平ロマンを訪ねて－」甲賀市信楽伝統産業会館
18年10月28日～ 11月 5日



甲賀の城発掘調査報告展（甲賀市）

◎出土遺物速報展示（安土城考古博物館ロビー展示）

- 高島市弘川佃・弘川宮ノ下遺跡出土品 18年 6月13日～ 7月15日
- 大津市関津遺跡出土品 18年11月24日～ 12月27日
- 入江内湖遺跡ほか（亥年関連遺物） 19年 1月 5日～ 2月 4日
- 赤野井浜遺跡出土土偶など 19年 2月10日～ 3月31日



県立安土城考古博物館ロビー展示

2 刊行物の編集・発行

- ◎「文化財教室シリーズ」No.221～224
- ◎「滋賀文化財だより」No.302～304
- ◎「遺跡散歩マップ」No.17 湖南市・甲賀市編
- ◎「紀要」第20号
- ◎成果展シンポジウム記録集「丸木舟の時代－びわ湖と古代人－」

3 発掘調査現地説明会などの開催

◎高野城遺跡 甲賀市甲賀町高野	18年 4月 9日（日）	20人
◎西河原宮ノ内遺跡 野洲市西河原	18年 6月24日（土）	101人
◎関津遺跡 大津市関津	18年10月 7日（土）	350人
◎野村北遺跡 東近江市野村町	18年10月21日（土）	70人
◎北脇遺跡 甲賀市水口町北脇	18年10月28日（土）	100人
◎関津遺跡 大津市関津	18年11月22日（水）	15人
◎塩津港遺跡 西浅井町塩津浜	18年12月 2日（土）	204人
◎十里遺跡 栗東市十里	19年 2月17日（土）	30人
◎十里遺跡 栗東市十里	19年 3月11日（日）	130人
◎肥田城遺跡 彦根市肥田町	19年 3月17日（土）	50人
◎松原内湖遺跡 彦根市松原町	19年 3月18日（日）	130人



十里遺跡現地説明会



関津遺跡現地説明会

4 報告書刊行報告会

◎植遺跡・植城遺跡 甲賀市水口歴史民俗資料館	18年 5月14日（日）	40人
◎植遺跡・植城遺跡 甲賀市柏木公民館	18年 7月20日（木）	60人
◎竜ヶ崎A遺跡 安土城考古博物館	18年 8月15日（火）	38人
◎高野城遺跡・竜法師城遺跡 甲賀市甲南情報交流センター	18年 8月26日（土）	202人
◎穴太銅込古墳群 大津市埋蔵文化財調査センター	18年 9月16日（土）	33人
◎鍛冶屋敷遺跡 甲賀市信楽伝統産業会館	18年10月28日（土）	
	18年11月 4日（土）	96人
◎松原内湖遺跡・国領遺跡・八坂東遺跡 彦根城 博物館	18年11月26日（日）	21人
◎夕日ヶ丘北遺跡・西河原宮ノ内遺跡・大篠原西遺跡 野洲市歴史民俗資料館	19年 2月 3日（土）	100人

⑤ 整理調査報告会（調査整理課）

- ◎あの遺跡は今！Part3 弘前遺跡など 18年 8月 20日（日） 252人
- ◎あの遺跡は今！Part4 赤野井浜遺跡など 19年 2月 4日（日） 400人

⑥ その他

- ◎記者発表・資料提供 西河原宮ノ内遺跡など 9件
- ◎体験学習の受け入れ等 大津市立田上小学校（埋文センター）など 17校 延 532人
- ◎講演会講師等 百済寺本町老人クラブなど 23回 延 1,521人



体験学習の受け入れ（安養寺・辻野遺跡）



記者発表（西河原宮ノ内遺跡）

4 文化財施設の管理運営事業：滋賀県立安土城考古博物館・滋賀県立琵琶湖文化館の指定管理と滋賀県埋蔵文化財センターの管理運営事業

① 滋賀県立安土城考古博物館 18年度年間総入館者数 58,107人

- ◎特別展
 - 春季特別展「吾、天下を左治す一大王と豪族ー」
期 間 18年 4月 22日（土）～ 6月 4日（日）
(入館者数 8,020人)
 - 秋季特別展「信長の城・秀吉の城ー織豊系城郭の成立と展開ー」
期 間 18年 10月 7日（土）～ 11月 19日（日）
(入館者数 8,253人)
- ◎企画展
 - 第32回企画展「丸木舟の時代ー琵琶湖と古代人ー」
期 間 18年 7月 15日（土）～ 9月 10日（日）
(入館者数 11,643人)
 - 第33回企画展「甲賀郡の風土と遺宝」
期 間 19年 1月 20日（土）～ 4月 1日（日）
(入館者数 9,375人)



第32回企画展
「丸木舟の時代ー琵琶湖と古代人ー」

② 滋賀県立琵琶湖文化館 18年度年間総入館者数 18,663人

- ◎特別展 「桃山ー華麗なる黄金の世紀ー」（琵琶湖文化館 45周年事業）
期 間 18年 10月 7日（土）～ 11月 12日（日）（入館者数 1,950人）
- ◎小企画展
 - 「平成 17年度滋賀県新指定文化財展」 18年 4月 15日～ 4月 30日
 - 「山王信仰の美術」 18年 5月 2日～ 6月 4日
 - 「揉み紙と現代茶陶」 18年 7月 1日～ 8月 20日
 - 「密教尊像」 18年 11月 15日～ 12月 27日



特別展 図録
「桃山ー華麗なる黄金の世紀ー」

③ 滋賀県埋蔵文化財センター 18年度年間総入館者数 7,275人

- ◎常設展示
上半期「歴史のいし・石・意志」 下半期「生産遺跡から見た近江の歴史」
- ◎刊行物
「滋賀埋文ニュース」（第313号～324号）
「埋もれた文化財の話 27」『近江の古墳時代ー渡来文化と人々の暮らしー』

◎資料収集・保管

出土遺物等の受入れ	遺物 694 箱	図面資料 94 冊	写真資料 112 冊
発掘調査報告書等の受入れ	発掘調査報告書類	1,271 冊	一般図書 423 冊

◎埋蔵文化財活用促進事業の実施

○遺跡ガイドブック作成と講座の開催

- i. 信長・秀吉・家康に関する城郭遺跡の紹介
ガイドブック「近江城郭探訪―合戦の舞台を歩く」 探訪マップ「近江城郭地図」の刊行
講座「歩き・み・ふれる 歴史の道」 18年10月21日(土) 米原市米原公民館 参加者 180人
- ii. 瀬田丘陵生産遺跡群の紹介
ガイドブック『『国づくりを支えた焔』―古代国家と瀬田丘陵生産遺跡群―』
講演会『『国づくりを支えた焔』―古代国家と瀬田丘陵生産遺跡群―』 18年11月11日(土)
草津市アマカホール 参加者 100人

○滋賀県埋蔵文化財センター研究会の開催

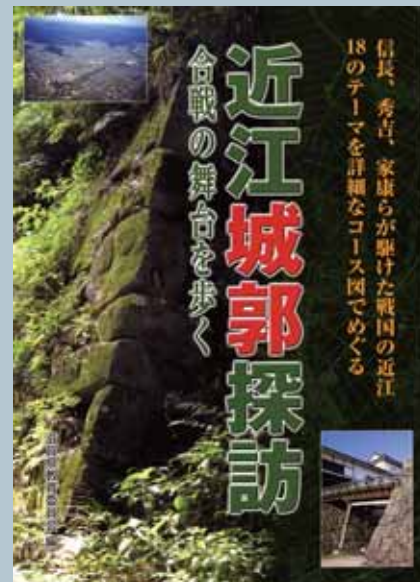
- i. 第87回研究会「映像で学ぶ近江城郭入門講座」 18年11月18日(土) ピアザ淡海 参加者 280人
- ii. 第88回研究会「平成18年度滋賀県発掘調査成果報告会 土の中から歴史が見える06
～最近の発掘成果から～」 19年3月10日(土) ピアザ淡海 参加者 270人

○県有史跡紹介のリーフレット作成とボックスの設置、案内看板の設置

史跡紫香楽宮跡(関連遺跡群)、史跡源内峠遺跡(史跡瀬田丘陵生産遺跡群)



「埋もれた文化財の話 27」



ガイドブック
「近江城郭探訪―合戦の舞台を歩く」

5 文化財保護資金の貸付事業

◎貸付実績 5件 20,200,000円

国・県または市町が指定した文化財、登録文化財などの保護・保存をはかるため、県・市町・協会・宗教法人・企業・個人などの出資金・寄付金をもとに無利子で貸付事業を行う。

平成18年度事業別調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	調査	面積(m ²)	報告書	事業者	調査原因	主な内容	
1	堂山古墳群	栗東市	発掘	2,000	○	国土交通省	国道建設	直径10mの円墳、木棺直葬	
	北尾東遺跡	栗東市	整理				国道建設	奈良時代の住居跡	
2	入江内湖遺跡	米原市	整理	○	国道建設		丸木舟など縄文時代の遺物など		
3	後山・畦倉遺跡	大津市	整理	○	国道建設		古代の製鉄炉跡		
4	柳遺跡	草津市	整理		新川建設		臼など弥生時代後期の木製品など		
5	高野城遺跡	甲賀市	発掘	6,800		西日本高速道路(株)	第2名神建設	郭・土塁・堅堀など中世城郭跡	
6	烏丸崎遺跡ほか	草津市他	整理			県教育委員会 (旧水資源公団)	琵琶湖開発	弥生時代の方形周溝墓など	
10	西河原宮ノ内遺跡	野洲市	発掘	2,400		県土木交通部	県道改修	大宝令前後の年紀木簡、倉庫	
11	大円寺遺跡	高月町	発掘	360			県道改修	遺構・遺物は特になし。	
12	長野遺跡	愛荘町	発掘	580			県道改修	古墳時代の溝、埴輪出土	
13	十里遺跡	栗東市	発掘・整理	6,400			県道改修	大型方形周溝墓、竪穴住居	
14	上仰木遺跡	大津市	発掘	340			県道改修	奈良時代の製鉄炉跡	
16	長浜城・一丁田遺跡	長浜市	発掘・整理	50	○		県道改修	近世の溝など	
18	塩津港遺跡	西浅井町	試掘・発掘	1,273			河川改修	古代の港に伴う宗教施設	
19	大谷古墳群	湖南市	試掘	12			砂防	近世の道路状の盛土	
21	木曾遺跡	多賀町	発掘	250			砂防	須恵器が出土	
7	極楽寺遺跡	高島市	整理	○			県道改修	弥生時代末からの住居跡	
9	総持寺遺跡	長浜市	整理	○			県道改修	中世～近世の溝跡など	
15	弘川佃・弘川宮ノ下遺跡	高島市	整理	○			県道改修	縄文時代後期中心の遺物群	
20	百済寺遺跡	東近江市	整理	○			砂防	弥生時代の山地集落	
8	関津遺跡	大津市	整理				国道建設	中世を中心とした集落跡	
17	赤野井浜遺跡	守山市	整理				水質保全	鯨面土偶や土偶形容器	
22	大中の湖東遺跡	東近江市	試掘	255			県農政水産部	農道整備	遺構・遺物は特になし。
23	夏見城遺跡	湖南市	試掘	195				環境保全	中世の遺構遺物検出
24	番匠垣内遺跡	米原市	試掘	40		ほ場整備		遺構・遺物は特になし。	
25	井戸遺跡	湖南市	試掘	685		ほ場整備		中世の柱跡確認	
26	関津遺跡	大津市	試掘・発掘	13,535		ほ場整備		古代の官道や掘立柱建物群	
28	肥田城遺跡	彦根市	試掘・発掘	5,833		ほ場整備		古代、中世の集落跡	
29	肥田城遺跡2	彦根市	試掘	957		ほ場整備		肥田城の水攻め堤等を確認	
30	弘前遺跡	守山市	発掘	1,124		環境保全		古代の建物跡、弥生～中世の遺物	
31	弘前遺跡ほか	守山市	試掘・発掘	374		環境保全		弥生・古墳の集落	
35	安養寺・辻野遺跡	近江八幡市	試掘・発掘	3,230		農道建設		平安時代の溝、建物跡など	
36	野村北遺跡	東近江市	試掘・発掘	5,756		ほ場整備		古代の集落、中世の屋敷跡	
37	野村北遺跡2	東近江市	試掘・発掘	3,760		ほ場整備		古代の集落	
41	酒波寺遺跡	高島市	発掘	200		農道建設		中世からの集落跡	
27	尊光寺遺跡	湖南市	発掘・整理	475	○	農道建設		中世の溝など	
40	関津遺跡	大津市	整理	○		ほ場整備		古代の掘立柱建物群、中世の集落	
32	山賀城遺跡ほか	守山市	整理	○		環境保全	古代から中世の集落		
34	夕日ヶ丘北遺跡	野洲市	整理	○		農道建設	古墳時代の道路跡、古代の集落		
38	了安寺遺跡	湖南市	整理	○		農道建設	古代から中世の集落		
39	了安寺遺跡	湖南市	整理	○		環境保全	古代から中世の集落		
42	落川遺跡	高月町	整理	○		環境保全	古代から中世の集落		
49	弘前遺跡	守山市	整理			環境保全	丸木舟を転用した井戸枠出土		
43	松原内湖遺跡	彦根市	試掘・発掘	3,700		県琵琶湖環境部	下水場建設	古墳時代の竪穴住居など	
44	狐塚遺跡	栗東市	発掘	190		県教育委員会	学校改修	柱穴を検出	
45	北脇遺跡	甲賀市	発掘	3,724		民間	店舗建設	平安時代の鍛冶工房跡	
46	西明寺本坊庭園	甲良町	発掘	110		(宗)西明寺	名勝庭園整備	埋もれた庭園池跡整備	
47	多賀神社奥書院庭園	多賀町	測量	600		(宗)多賀大社	名勝庭園整備	池泉鑑賞式庭園測量	
49	旧白毫院庭園	大津市	測量	50		(株)芙蓉園	名勝庭園整備	池泉式の比叡山里坊庭園測量	
				65,258	15冊				





開催期間

2007/07/21~09/2

ホームページ・アドレス <http://www.shiga-bunkazai.jp/>
表紙: 塩津港遺跡 現地説明会風景